

DERWENT-ACC-NO: 2001-621977

DERWENT-WEEK: 200172

COPYRIGHT 1999 DERWENT INFORMATION LTD

TITLE: Care plan decision system for long
term care insurance system, edits produced care plan by
adjusting pattern contents of pattern setting process
section

PATENT-ASSIGNEE: KOCHI KEN[KOCHN] , MITSUBISHI ELECTRIC
CORP[MITQ]

PRIORITY-DATA: 2000JP-0059081 (March 3, 2000)

PATENT-FAMILY:

PUB-NO	PAGES	PUB-DATE	MAIN-IPC
JP 2001249971 A		September 14, 2001	N/A
020	G06F	017/60	

APPLICATION-DATA:

PUB-NO	APPL-DESCRIPTOR	APPL-NO
JP2001249971A	N/A	
2000JP-0059081	March 3, 2000	

INT-CL (IPC): G06F017/60, G06F019/00

ABSTRACTED-PUB-NO: JP2001249971A

BASIC-ABSTRACT:

NOVELTY - A process section (8) reads the reference patterns relative to the important points of care plan and displays it on a pattern selection screen. A care person master (5) chooses one of the displayed patterns. A scheduling process section (9) produces a care plan by assigning each service for the usage frequency to the schedule on a care service planned

BEST AVAILABLE COPY

setting screen, and
edits it by adjusting the pattern content of the section
(8).

DETAILED DESCRIPTION - An INDEPENDENT CLAIM is also
included for care plan
production method.

USE - For long term care insurance system.

ADVANTAGE - Increases the efficiency of decision operation
of the care plan due
to the care person master.

DESCRIPTION OF DRAWING(S) - The figure shows the entire
block diagram of the
care plan decision support system. (Drawing includes
non-English language
text).

Care person master 5

Pattern setting process section 8

Scheduling process section 9

CHOSEN-DRAWING: Dwg.1/15

TITLE-TERMS: CARE PLAN DECIDE SYSTEM LONG TERM CARE
INSURANCE SYSTEM EDIT
PRODUCE CARE PLAN ADJUST PATTERN CONTENT
PATTERN SET PROCESS
SECTION

DERWENT-CLASS: T01

EPI-CODES: T01-J; T01-J05A;

SECONDARY-ACC-NO:
Non-CPI Secondary Accession Numbers: N2001-464300

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2001-249971

(P2001-249971A)

(43) 公開日 平成13年9月14日 (2001.9.14)

(51) Int.Cl.

識別記号

F I

テコード (参考)

G 0 6 F 17/60

G 0 6 F 15/21

3 6 0 5 B 0 4 9

19/00

15/42

T

H

審査請求 未請求 請求項の数 8 O L (全 20 頁)

(21) 出願番号 特願2000-59081 (P2000-59081)

(22) 出願日 平成12年3月3日 (2000.3.3)

(71) 出願人 591039425

高知県

高知県高知市丸ノ内1丁目2番20号

(71) 出願人 000006013

三菱電機株式会社

東京都千代田区丸の内二丁目2番3号

(72) 発明者 森口 博基

高知県高知市丸ノ内一丁目二番二〇号 高

知県健康福祉部内

(74) 代理人 100075258

弁理士 吉田 研二 (外2名)

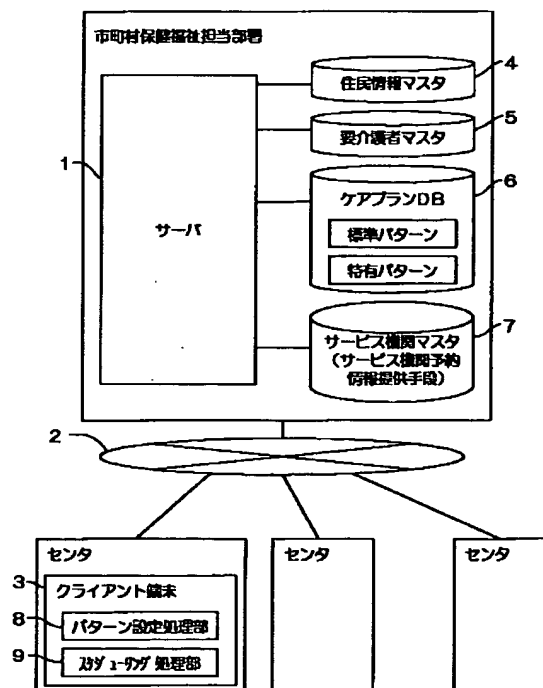
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 ケアプラン策定支援システム及びケアプラン作成方法

(57) 【要約】

【課題】 ケアプラン作成者によるケアプランの策定作業の効率化を図る。

【解決手段】 パターン設定処理部8は、要介護者の要介護度に対応した標準パターンをケアプランデータベース6から読み出してパターン選択画面に表示し、ケアマネージャに選択させる。スケジューリング処理部9は、選択された標準パターンに含まれる利用回数分のサービスを介護サービス計画設定画面上の予定表に割り付けさせることでケアプランの策定を行わせる。このとき、パターンに含まれているサービスの利用回数及び含まれていないサービスの追加をできるようにしている。更に、サービスの内容の変更に伴いサービス利用に要する費用の見積もりを自動的に再計算する。



【特許請求の範囲】

【請求項1】 ケアプラン作成者によるケアプランの作成作業を支援するケアプラン策定支援システムにおいて、

利用するサービスの種類、内容、利用回数を指定した介護サービス情報を組み合わせて構成される1乃至複数の標準パターンを各要介護度に対応させて格納する標準パターンデータベースと、

ケアプラン作成対象となる要介護者の要介護度に対応した標準パターンを前記標準パターンデータベースから読み出してパターン選択画面に表示し、ケアプラン作成者にパターン選択画面から一の標準パターンを選択させることによって当該要介護者のパターンとするパターン設定処理手段と、

当該要介護者のパターンに含まれる各介護サービス情報を介護サービス計画設定画面に表示し、利用回数分の各サービスを介護サービス計画設定画面上のケアプラン予定表に割り付けさせることによってケアプランを作成するケアプラン作成処理手段と、

を有し、

前記ケアプラン作成処理手段は、前記パターン設定処理手段により設定されたパターンの内容を調整しながら当該要介護者のケアプランを作成させるパターン編集機能を有することを特徴とするケアプラン策定支援システム。

【請求項2】 前記ケアプラン作成処理手段は、前記パターン設定処理手段によって設定されたパターンに含まれるサービスの利用回数を調整可能とすることを特徴とする請求項1記載のケアプラン策定支援システム。

【請求項3】 前記ケアプラン作成処理手段は、前記パターン設定処理手段によって設定されたパターンに含まれていないサービスをケアプランに追加可能としたことを特徴とする請求項1又は2記載のケアプラン策定支援システム。

【請求項4】 前記ケアプラン作成処理手段は、ケアプラン予定表に割り付けたサービスがサービス機関の利用を必要とする場合、利用するサービス機関に関する利用情報を当該サービスに付加してケアプランを作成することを特徴とする請求項1記載のケアプラン策定支援システム。

【請求項5】 各サービス機関の予約状況を提供するサービス機関予約情報提供手段を有し、

前記ケアプラン作成処理手段は、前記サービス機関予約情報提供手段からの予約状況を参照することによって利用するサービス機関及びそのサービス機関を利用するサービスのスケジュールを決定させることを特徴とする請求項4記載のケアプラン策定支援システム。

【請求項6】 前記ケアプラン作成処理手段は、介護サービス計画設定画面に表示しているサービス利用に要する費用を、パターン内容の変更に伴い自動再計算するこ

とを特徴とする請求項1記載のケアプラン策定支援システム。

【請求項7】 前記ケアプラン作成処理手段は、介護サービス計画設定画面に表示しているサービス利用に要する費用が支給限度額を超えた場合に表示形態を変えることを特徴とする請求項6記載のケアプラン策定支援システム。

【請求項8】 ケアプラン作成者によるケアプランの作成作業を支援するケアプラン策定支援システムにおいて、

利用するサービスの種類、内容、利用回数を指定した介護サービス情報を組み合わせて構成される1乃至複数の標準パターンを各要介護度に対応させて格納した標準パターンデータベースから、ケアプラン作成対象となる要介護者の要介護度に対応した標準パターンを読み出してパターン選択画面に表示し、ケアプラン作成者にパターン選択画面から一の標準パターンを選択させることによって当該要介護者のパターンを設定するパターン設定ステップと、

前記パターン設定ステップによって設定された当該要介護者のパターンに含まれる各介護サービス情報を介護サービス計画設定画面に表示し、利用回数分の各サービスを介護サービス計画設定画面上のケアプラン予定表に割り付けさせることによってケアプランを作成させるスケジューリングステップと、

を含み、

前記スケジューリングステップは、ケアプラン作成者に当該要介護者のパターンの内容を調整させながら当該要介護者のケアプランを作成させることを特徴とするケアプラン作成方法。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、ケアプランの策定を支援するシステム、特にケアプランを作成する際の作業の効率化を図るケアプラン策定支援システム及び方法に関する。

【0002】

【従来の技術】我が国では、介護保険制度が2000年4月から開始される。介護保険の適用を受けるためには要介護認定の申請を行い、申請者に「介護が必要」と認定される必要がある。「介護が必要」と認定されるには、85項目の調査項目から成る訪問調査の結果に基づき一次判定を行い、この結果及びかかりつけの医師の意見書に基づき介護認定審査会が行われる。そして、介護認定審査会による審査判定の結果、「介護が必要」と認められた申請者は、要介護者と認定されることになる。また、この認定の際、要介護者がどのくらいの介護が必要なのかという要介護度が判定される。

【0003】介護支援専門員（ケアマネージャ）は、介護保険の適用が決定した要介護者に対して、その要介護

者に認定された支給限度額と要介護者のそのときの健康状態等を参考にして各要介護者が利用するサービス（以下、「介護サービス」とも言う）とその利用回数を決めてケアプラン（介護サービス計画）を策定する。例えば医療機関での診療を多用した方がよいと判断した要介護者に対しては、医療機関の利用回数を相対的に多く設定するようにし、一方、歩行の困難な要介護者に対しては、訪問のみ又は訪問回数を多用するなどして、各要介護者に適合したサービスを提供できるようにケアプランを策定する。各要介護者は、以上のようにして自己のために策定されたケアプランに基づき介護サービスを利用することができるようになる。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、要介護者が介護サービスを適切に利用できるか否かは、ケアマネージャが策定したケアプランの善し悪しによって左右されるところが少なくない。また、例えば医療機関での診療を多用した方がよいと判断した要介護者に対しては、医療機関の利用回数を相対的に多く設定するようにケアプランを作成するであろうからそのような調整を考慮したケアプランを自動作成できるシステムを構築することも考えられる。しかしながら、ケアプランを作成するには、定量的でないデータを数多く含む調査結果を反映させる必要があるため、ケアプラン作成処理を完全に自動化すると、介護者の要望等を反映させたケアプランの作成が困難になってしまう。

【0005】その一方で、ケアマネージャが各要介護者のケアプランをゼロの状態から築き上げていくには、その作業に要する時間や負荷が多大となる。

【0006】本発明は以上のような問題を解決するためになされたものであり、その目的は、ケアプラン作成者によるケアプランの策定作業の効率化を図るケアプラン策定支援システム及びケアプラン作成方法を提供することにある。

【0007】

【課題を解決するための手段】以上のような目的を達成するために、本発明に係るケアプラン策定支援システムは、ケアプラン作成者によるケアプランの作成作業を支援するケアプラン策定支援システムにおいて、利用するサービスの種類、内容、利用回数を指定した介護サービス情報を組み合わせて構成される1乃至複数の標準パターンを各要介護度に対応させて格納する標準パターンデータベースと、ケアプラン作成対象となる要介護者の要介護度に対応した標準パターンを前記標準パターンデータベースから読み出してパターン選択画面に表示し、ケアプラン作成者にパターン選択画面から一の標準パターンを選択させることによって当該要介護者のパターンとするパターン設定処理手段と、当該要介護者のパターンに含まれる各介護サービス情報を介護サービス計画設定画面に表示し、利用回数分の各サービスを介護サービス

計画設定画面上のケアプラン予定表に割り付けさせることによってケアプランを作成するケアプラン作成処理手段とを有し、前記ケアプラン作成処理手段は、前記パターン設定処理手段により設定されたパターンの内容を調整しながら当該要介護者のケアプランを作成させるパターン編集機能を有するものである。

【0008】また、前記ケアプラン作成処理手段は、前記パターン設定処理手段によって設定されたパターンに含まれるサービスの利用回数を調整可能とするものである。

【0009】また、前記ケアプラン作成処理手段は、前記パターン設定処理手段によって設定されたパターンに含まれていないサービスをケアプランに追加可能としたものである。

【0010】また、前記ケアプラン作成処理手段は、ケアプラン予定表に割り付けたサービスがサービス機関の利用を必要とする場合、利用するサービス機関に関する利用情報を当該サービスに付加してケアプランを作成するものである。

【0011】更に、各サービス機関の予約状況を提供するサービス機関予約情報提供手段を有し、前記ケアプラン作成処理手段は、前記サービス機関予約情報提供手段からの予約状況を参照することによって利用するサービス機関及びそのサービス機関を利用するサービスのスケジュールを決定させるものである。

【0012】また、前記ケアプラン作成処理手段は、介護サービス計画設定画面に表示しているサービス利用に要する費用を、パターン内容の変更に伴い自動再計算するものである。

【0013】更に、前記ケアプラン作成処理手段は、介護サービス計画設定画面に表示しているサービス利用に要する費用が支給限度額を超えた場合に表示形態を変えるものである。

【0014】また、本発明に係るケアプラン作成方法は、ケアプラン作成者によるケアプランの作成作業を支援するケアプラン策定支援システムにおいて、利用するサービスの種類、内容、利用回数を指定した介護サービス情報を組み合わせて構成される1乃至複数の標準パターンを各要介護度に対応させて格納した標準パターンデータベースから、ケアプラン作成対象となる要介護者の要介護度に対応した標準パターンを読み出してパターン選択画面に表示し、ケアプラン作成者にパターン選択画面から一の標準パターンを選択させることによって当該要介護者のパターンを設定するパターン設定ステップと、前記パターン設定ステップによって設定された当該要介護者のパターンに含まれる各介護サービス情報を介護サービス計画設定画面に表示し、利用回数分の各サービスを介護サービス計画設定画面上のケアプラン予定表に割り付けさせることによってケアプランを作成させるスケジュールリングステップとを含み、前記スケジュールリング

ステップは、ケアプラン作成者に当該要介護者のパターンの内容を調整させながら当該要介護者のケアプランを作成させるものである。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、図面に基づいて、本発明の好適な実施の形態について説明する。

【0016】図1は、本発明に係るケアプラン策定支援システムの一実施の形態を示した全体構成図である。本システムは、市町村役所の保険福祉担当部署によって管理されるサーバ1と、在宅介護支援センタ、訪問看護ステーションなどケアマネージャがいる事務所等（以下「センタ」と総称する）に設置され、サーバ1に通信回線2によって個々に接続された複数のクライアント端末3を有している。通信回線2としては、公衆回線網、特にISDNを利用することが望ましい。

【0017】サーバ1には、ケアマネージャがクライアント端末3を用いて行うケアプランの策定に必要な各種情報が保持管理されている。このうち、住民情報マスタ4には、現住所、氏名、生年月日等管轄市町村に在住する住民に関する情報、更に要介護者である住民に対しては、要介護者マスタ5に登録されたデータとの関連づけをする情報が格納される。

【0018】要介護者マスタ5には、住民のうち要介護者として認定された者に関する情報が格納されている。具体的には、要介護者の住所、氏名等の個人情報、要介護度、訪問調査結果、更に審査した審査会、審議内容、認定結果等審査に関する情報などが格納される。図2には、要介護者マスタ5に含まれるテーブル名称のリストを示した。要介護者に関する情報は認定記録テーブルに、要介護度は審査結果区分テーブルに、審査に関する情報は審査会テーブル等に、それぞれ登録される。なお、各テーブル名称の先頭に付した“C”，“D”，“M”は、それぞれコード、更新されうるデータ、原則登録のみのマスタというデータ種別を表している。ケアプランデータベース6においても同様である。

【0019】ケアプランデータベース6には、策定したケアプランに関する情報が格納される。具体的には、ケアプランそのもの、スケジュールされた介護サービスにおいて利用する医療機関等の各施設（以下、「サービス機関」）に関する情報が登録される。図3には、ケアプランデータベース6に含まれるテーブル名称のリストを示した。本実施の形態の場合、各要介護者のケアプランの策定の元情報になる標準パターンと、要介護者のために策定したケアプラン（「特有パターン」）とが登録されている。パターンに含まれている利用回数分の各サービスをカレンダー上に当てはめて立案したスケジュールがケアプランになる。標準パターンというのは、利用するサービスの種類、内容、利用回数を指定した介護サービス情報を組み合わせて構成される標準的なパターンである。図4は、要介護度と各要介護度における標準的

なサービス型の対応関係を示した図である。標準パターンは、各要介護度に対応させて1乃至複数の標準パターンが設定されるが、本実施の形態では、各サービス型に対応させて標準パターンを設定している。

【0020】サービス機関マスタ7は、サービス機関に関するマスタ情報及び各サービス機関の予約状況が格納されているマスタデータベースであり、本実施の形態ではサービス機関予約情報提供手段として設けられている。本実施の形態では、各サービス機関が当該設備の予約状況をサービス機関マスタ7に書き込む。ケアマネージャは、必要に応じてクライアント端末3を介してサービス機関マスタ7を参照することによって利用するサービス機関及びそのサービス機関を利用するサービスのスケジュールを決定する。各サービス機関には、介護に要する設備や器械を複数具備しているところもあるので、より具体的には設備や器械毎の予約となるであろうが、本実施の形態では、便宜上、サービス機関単位での予約として扱うことにする。サービス機関マスタ7に格納されたサービス機関に関する情報部分の一例を図5に示す。なお、本実施の形態では、その他にもケアマネージャに関する要員マスタ等種々のデータベースを有しているが、本実施の形態における特徴的な構成要素でないため説明及び図面から省略する。

【0021】一方、クライアント端末3は、ケアプランを作成するのに必要なパターン設定処理部8とスケジュールリング処理部9とを有している。パターン設定処理部8は、要介護者のパターンを設定する。スケジュールリング処理部9は、パターン設定処理部8により設定されたパターンの内容、例えばサービスの利用回数あるいはサービスそのものを調整しながらケアプランをケアマネージャに作成させるパターン編集機能を有している。クライアント端末3は、汎用的なパーソナルコンピュータ又は携帯型情報端末により構築でき、各処理部8、9は、サーバ1とデータの授受を行いながらケアプラン作成処理を実行するアプリケーションをコンピュータ上で動作させることで実現できる。

【0022】本実施の形態において特徴的なことは、ケアプランを策定するに際し、予め用意した数多くのケアプランの中から最適なケアプランをそのまま適用するのではなくケアマネージャがサービスの内容や回数の設定を調整しながら一要介護者のためのケアプランを個々に策定できるようなパターン編集機能を提供したことである。これにより、ケアマネージャは要介護者個々に見合ったケアプランを策定することができる。その一方で、ケアプランの要介護度、更に各要介護度のサービス型に対応させて1乃至複数の標準パターンを予め登録しておき、その登録したものの中から選択した標準パターンをケアプラン策定の際の元データとして提供するようにしたことである。これにより、ケアマネージャは、ゼロの状態からケアプランを策定するのではなく、標準パ

ターンを選択し、その選択した標準パターンに含まれる各介護サービスの利用回数を増減させるような調整を行うことで要介護者個々に見合ったケアプランを策定することができる。このため、策定作業に要する時間や負荷を削減することができる。

【0023】次に、本実施の形態におけるケアプラン策定処理について図6に示したフローチャートに沿って説明する。

【0024】本実施の形態におけるケアプラン策定処理は、ケアプランを構成する介護サービスと各介護サービスの計画数を決める介護サービス計画数設定処理（ステップ101）と、設定された計画数分の介護サービスの実施計画のスケジュールを決める介護スケジューリング処理（ステップ102）に大別できる。このうち、前者の処理は、予め登録されたものの中から目安となるケアプランを選択することで実施される。

【0025】図7は、本実施の形態における介護サービス計画数設定画面の表示例を示した図である。この介護サービス計画数設定画面は、介護スケジュールを立案するための目安となる介護サービス計画数を設定するための画面である。この画面上から設定された介護サービス計画数は、後段の介護スケジューリング処理において変更される可能性があるため、介護スケジューリング処理において増減するための基準値を設定するための処理とみなすことができる。従って、ここで主とする処理は、ケアプランデータベース6に登録されているものの中から当該要介護者にとって適切なパターンを選択するための処理ということができる。

【0026】なお、本実施の形態において用意する主要画面は、本システムによって生成するシート上に形成され、各シートのタブを選択することで表示画面を切り替えるようにしている。従って、図6に示したフローチャートでは、ケアプラン策定の際に実行すべき処理とその基本的な処理の流れを示したものであり、設定する順番等はケアマネージャによって可能な範囲で任意に選択することができる。

【0027】ケアマネージャが要介護者を入力指定することによって介護サービス計画数設定画面に表示された当該要介護者の被保険者番号、被保険者名（要介護者名）、要介護度とその区分、認定申請日及び認定有効期間は、要介護者マスタから読み出されて表示された情報である。サービス種別、サービス項目、頻度／単位及び標準価格（以下、総称して「介護サービス情報」）を表示するリストボックス11には、選択されたパターンを構成する各介護サービスの介護サービス情報がリスト表示される。表示されるパターンは、ケアプランデータベース6に登録されている。なお、「パターン」というのは、要介護度における訪問型、通所型などのサービス型をいうが、介護サービスとその計画数（頻度）との組を複数組み合わせることで各サービス型に対応させてケアプラン

ンデータベース6に登録するので、この介護サービスの組情報もパターンと称することにする。パターン選択ボタン12は、パターンを選択するための画面に移るためのボタンである。パターン編集ボタン13は、登録済みのパターンを編集するための画面に移るためのボタンである。サービス追加・削除指定エリア14には、現在表示中のパターンを編集する際に用いるフィールド及びボタンが配設されており、このエリア内に介護サービス情報が指定された後サービス登録ボタンが押下されると、パターン設定処理部8は、その介護サービス情報をリストボックスに追加表示すると同時にケアプランデータベース6に登録する。また、サービス削除ボタンが押下されると、その介護サービス情報をリストボックスから消去すると同時にケアプランデータベース6から削除する。

【0028】ケアマネージャは、この画面上のパターン選択ボタンをクリックして、図8に示したパターン選択画面に移行する。この画面には、当該要介護者の要介護度に対してケアプランデータベース6に登録されている標準パターン及び特有パターンがパターン名称表示用のリストボックス15に表示される。標準パターンは、要介護度毎パターン毎に予め設けられている。また、本実施の形態では、システム全体における標準パターンとは別個に、特有パターンをケアプランデータベース6に予め登録できるようにしている。これにより、ケアプランデータベース6に登録した特有パターンをケアマネージャの経験則に基づくケアマネージャ特有の標準パターンあるいは市町村特有の標準パターンとして利用することができる。特有パターンのケアプランデータベース6への登録は、所定の操作によって行うことができる。パターン名称のリストボックス内において選択されたパターンに含まれているサービス及びその計画数に関する詳細な情報は、その下方に配設したリストボックス16に表示される。パターンを選択した後、確定ボタン17をクリックすると、図7に示した介護サービス計画数設定画面に戻り、選択されたパターンを構成する各介護サービス情報は、リストボックス11に表示される。以上のようにして、介護サービス計画数の目安を設定する。通常は、選択したパターンをそのまま当該要介護者のパターンとし、このパターンに変更を加えたい場合は以降の介護スケジューリング処理で変更をしながらスケジューリングを行うことになるが、サービス追加・削除指定エリア14に所望するサービス等を指定してこの介護サービス計画数設定画面においても変更することができる。

【0029】本実施の形態によれば、ケアプランを作成する処理の過程において標準パターンを選択できるようにしたので、ケアマネージャはゼロの状態からケアプランを作成しなくてすむ。

【0030】次に、設定された計画数分の介護サービスの実実施計画のスケジュールを決める介護スケジューリン

グ処理について説明する。この処理は、図7に示した介護サービス計画のタブをクリックすることで、図9に示した介護サービス計画設定が表示される。

【0031】介護サービス計画数設定画面において設定したパターンを構成する各介護サービス情報は、この介護サービス計画設定の右側における「週単位のサービス」と「週単位以外のサービス」をそれぞれ表示するエリア21、22に分けて表示される。本実施の形態では、この表示された介護サービスをマウスで選択しながら画面左にある週間予定表23と特定日予定表24の中

10 に当てはめていくことでケアプランを作成していく。まず、週単位に設定される介護サービスを週間予定表23に割り付けていく処理から説明する。

【0032】ケアマネージャは、週単位サービス回数エリア21の中から週間スケジュールとして登録したい介護サービスをマウスクリックすると、マウスカーソルは手の形になり、更に週間予定表23のタイトル部分の色が変わる。なお、週単位サービス回数エリア21や週間

20 予定表23上でマウスを右クリックするなどしてマウスカーソルの手の形を解除することができる。続いて、週間予定表23上において選択した介護サービスを設定したい曜日、時間帯の枠内でマウスクリックする。これにより、指定した曜日、時間帯の枠内にサービス名が表示されると共に画面中央のサービス詳細表示エリア25に指定した介護サービスの詳細情報が要介護者マスタ5から読み出されて表示される。また、週単位サービス回数エリア21に表示されている利用回数は、残数として表されており、この残数から週間予定表23に割り付けたサービス分の回数が減算される。例えば、図9において訪問看護と通所介護は共に残数が0なので、予定の利用

20 回数分の割当てが終了したということになる。更に、概算見積り表示エリア26には、限度額管理期間中の介護保険の適用による支給限度額と作成中のケアプランが登録されたときの概算見積額とが訪問通所系と短期入所系とに分けて表示される。1つの介護サービスの割当に関しては、マウスが手の形をしている間は続けて設定できる。また、週間予定表23上で、既に介護サービスが登録されている曜日、時間帯と同じ枠にも他の介護サービスの登録ができる。

40 【0033】次に、週単位以外に設定される介護サービスを特定日予定表24に割り付けていく処理について図10に基づき説明する。なお、週単位というのは、毎週1回以上定周期的にという意味を持たせており、この条件を満たさない、例えば月1回や隔週を含む月2回などを週単位以外と表現している。隔週を週0.5回などと表現することもできるので、週単位と週単位以外との差異を厳密に持たせることにはそれほどの意味はなく、単に「残数」の単位が「週」か否かの差異程度と考えることができる。また、原則として週間予定表23に割り付

【0034】ケアマネージャは、週単位以外サービス回数エリア22の中から特定日スケジュールとして登録したいサービスをマウスクリックすると、マウスカーソルが手の形になり、特定日予定表24のタイトル部分の色が変わる。なお、週単位以外サービス回数エリア22や特定日予定表24上でマウスを右クリックするなどしてマウスカーソルの手の形を解除することができる。特定日予定表24上でマウスクリックすると、図11に示したように、サービス回数エリア21、22の表示部分が消えてその部分にサービス機関割付エリア27が表示される。また、サービス詳細表示エリア25が消え、特定日指定エリア28が表示される。

【0035】このサービス機関割付画面から週単位以外サービス回数エリアの中から選択された介護サービスの指定期間を入力する。まず、サービス機関割付エリア27において時間帯、機関コードを指定し、更に特定日指定エリア28においてマウス右クリックすることでカレンダー入力可能にする。そして、期間を入力した後、追加・更新ボタン29を押下することによってカレンダー上にサービス機関の割付を行う。

【0036】ところで、割り付けようとするサービス機関が特定されており、また、そのサービス機関コードを知っていれば、更に割り付けた日の該当する時間帯に他の予約が入っていないことが明らかであれば、上記手順によってサービス機関を利用する介護サービスのスケジュールリングを行うことができる。しかし、サービス利用

30 対象となるサービス機関あるいはそのサービス機関コード、当該サービス機関の予約状況が不明な場合は、以下のようにして当該介護サービスのスケジュールリングを行う。

【0037】まず、図11に示した画面の機関検索ボタン30を押下すると、図12に示したように割付対象となるサービス機関の一覧を表示するためのサービス機関検索画面が表示される。その一覧表示されたサービス機関名の中から割り付けたいサービス機関を選択し、確定ボタン41を押下すると図11に戻る。この際、選択したサービス機関に関する情報は、機関コードのフィールド31に反映される。なお、ここで表示される情報は、サービス機関マスタ7から読み出される。

【0038】また、図11において機関別参照ボタン32を押下すると、図13に示したようなサービス機関別スケジュール参照画面が表示される。この画面において参照したいサービス機関のコード及び表示とする対象年月を所定のフィールドに入力して検索実行ボタン42を押下すると、該当するサービス機関の予約状況がサービス機関マスタ7から読み出されて表示される。カレンダーを表示する際、既にスケジュールが登録されている日枠

内の表示色を変える。予約済みの箇所を選択してマウスをクリックすると、その日の予約情報がカレンダーの下方のリストボックス43に表示される。この画面において機関検索ボタン44を押下すると、前述した図12のサービス機関検索画面に移行する。サービス機関検索画面においてサービス機関の選択後、確定ボタン41を押下してサービス機関別スケジュール参照画面に戻ると、選択されたサービス機関のコードは、サービス機関のフィールド45に反映される。

【0039】以上のようにしてサービス機関を特定した後、サービス機関割付画面上の追加・更新ボタン29を押下することによりサービス機関の割付を容易に行うことができる。この後、詳細設定終了ボタン33を押下することによって図10に示した画面に戻る。

【0040】更に、本実施の形態においては、上記週単位のサービスも特定日設定の方法を用いて登録することができる。まず、ケアマネージャは、図9に示した介護サービス計画設定において週単位サービス回数エリア21の中から登録したいサービスをマウスクリックすると、マウスカーソルは手の形になり、更に週間予定表23のタイトル部分の色が変わる。そして、特定日予定表24上でマウスクリックすると、図14に示したように、サービス回数エリア21、22の表示部分が消えてその部分にサービス機関割付け用のエリア27が表示される。また、サービス詳細表示エリア25が消え、特定日指定エリア28が表示される。このエリア27及び特定日指定エリア28自体は図11と同じである。ただ、この週単位のサービスのスケジュール登録処理における特定日指定エリア28のオプションボタンのデフォルトが「毎月」である点で「特定日」をデフォルトとする週単位以外のサービスのスケジュール登録処理と異なる。この特定日指定エリア28から毎月第何週の何曜日のどの時間帯かを設定する。これにより、毎月同じ設定を繰り返し行わなくて済む。また、特定日として、日付を指定したい場合には、「特定日」のオプションボタン35を押下すると特定日が指定できるように表示が変わるので期間を入力する。特定日を指定した後、追加・更新ボタン29を押下することで当該介護サービスのスケジュールが確定される。

【0041】最後に、本実施の形態において特徴的なサービスの変更処理機能について説明する。

【0042】上記説明したように、要介護者が利用できる介護サービスの種類及び利用回数は、基本的には支給限度額という上限が決められている。しかしながら、そのときの健康状態によっては、自己負担をしてでも支給限度額以上のサービスを利用したい場合がある。このような場合を想定して、本実施の形態では、サービス内容の変更、具体的には既設定サービスの利用回数の変更及びサービスの追加登録ができるような構成を設けることにした。

【0043】この場合、図9に示した介護サービス計画設定において回数を増やしたい介護サービスを選択してから詳細ボタン51を押下する。新規サービスの場合は週単位サービス回数、週単位以外サービス回数のどちらかを選択して詳細ボタン51を押下する。この操作により図15に示したようにサービス回数エリア21、22の表示部分が消えてその部分に詳細設定用のエリア52が表示される。図15に示した画面において既存の介護サービスの利用回数を変更する場合は、頻度のフィールド53の設定値を変更する。介護サービスの追加登録の場合は、種別名、項目名の各フィールド54、55の設定内容を当該追加サービスの名称等に変更し、更に頻度を設定する。この後、詳細設定終了ボタン33を押下する。この操作によって戻る介護サービス計画設定画面上には、変更/追加した介護サービスの設定内容が反映される。なお、変更/追加した介護サービスがサービス機関を利用する場合は、機関検索ボタン30を押下してサービス機関割付処理を実行することになるが、この処理については説明したのでここでの説明は省略する。

【0044】以上のように、介護サービスの利用回数の変更や介護サービスのパターン調整を行うと、その調整に応じて発生する費用が変更される。この費用は、図15に示したサービス編集画面から図9に示した介護サービス計画設定画面に戻る際に自動的に再計算され、概算見積り表示エリア26に表示される。このとき、支給限度額を超えた場合には、赤色表示、点滅等、更に超えた金額によって表示形態を異ならせることによってケアマネージャにその旨を認識させる。この表示により、ケアマネージャは、介護サービス及びその利用回数の再設定や許容範囲であるかなどの判定をしながらケアプランの策定を続けることになる。

【0045】ケアマネージャは、最後に介護サービス計画設定におけるサービス計画確定ボタン56を押下することによってケアプランを確定し、その作成作業を終了する。サービス計画確定ボタン56が押下された時点で作成されたケアプランは、ケアプランデータベース6に登録される(ステップ103)。

【0046】本実施の形態によれば、パターンを構成するサービスをカレンダー上に割り付けていくことによってケアプランを作成させることができる。これにより、ケアマネージャは、各要介護者個々に最適と考えられるケアプランを策定させることができる。また、本実施の形態においては、ケアマネージャがケアプランを策定するに際し予め用意したパターンを選択させ、そのパターンに基づきケアプランを策定させるようにした。このため、ケアマネージャは、ゼロの状態からケアプランを策定する必要がないのでケアプランを効率的に策定することができる。

【0047】なお、現在のところケアプランはケアマネージャにより作成されるので、ケアプラン作成者として

ケアマネージャを想定しているが、法律の改定等により他の物が作成する場合はその者もケアプラン作成者に含まれることになる。

【0048】また、上記説明においてサービス機関予約情報提供手段は、サービス機関マスタ7によって実現しているが、各サービス機関のシステムに直接アクセスをして各サービス機関から直接予約状況を取得できるようにしてもよい。

【0049】

【発明の効果】本発明によれば、利用するサービスの種類、内容、利用回数を指定した介護サービス情報を組み合わせる構成される標準パターンの内容を調整しながらケアプランを作成させるパターン編集機能を有しているため、ケアプラン作成者は、要介護者個々に見合ったケアプランを策定することができる。また、ゼロの状態からケアプランを策定するのではなく、標準パターンを選択し、その選択した標準パターンに含まれる各介護サービスの利用回数を増減させるような調整を行うことによってケアプランを策定することができるので、策定作業を効率的に行うことができる。

【0050】また、選択した標準パターンとは異なる内容、例えば標準パターンに含まれるサービスの利用回数や標準パターンに含まれていないサービスの追加をできるようにしたので、標準パターンに制限されることなく要介護者個々に見合ったケアプランを策定することができる。

【0051】また、要介護者が利用するサービスがサービス機関の利用を要する場合でも該当するサービス機関の予約状況を確認しながらスケジュールの立案をすることができる。

【0052】また、サービス内容の調整を行っている段階においてサービスの利用に要する費用の見積もりをリアルタイムに自動計算して表示するようにしたので、費用の面から現実的なケアプランを作成することができる。

【図面の簡単な説明】

【図1】 本発明に係るケアプラン策定支援システムの一実施の形態を示した全体構成図である。

【図2】 本実施の形態における要介護者マスタのデータ構成例を示した図である。

【図3】 本実施の形態におけるケアプランデータベースのデータ構成例を示した図である。

【図4】 本実施の形態における要介護度と各要介護度

における標準的なサービス型の対応関係を示した図である。

【図5】 本実施の形態におけるサービス機関マスタのデータ構成例を示した図である。

【図6】 本実施の形態におけるケアプラン策定処理を示したフローチャートである。

【図7】 本実施の形態における介護サービス計画数設定画面の表示例を示した図である。

【図8】 本実施の形態におけるパターン選択画面の表示例を示した図である。

【図9】 本実施の形態における介護サービス計画設定の表示例を示した図である。

【図10】 本実施の形態における介護サービス計画設定の表示例を示した図である。

【図11】 本実施の形態におけるサービス機関割付画面の表示例を示した図である。

【図12】 本実施の形態におけるサービス機関検索画面の表示例を示した図である。

【図13】 本実施の形態におけるサービス機関別スケジュール参照画面の表示例を示した図である。

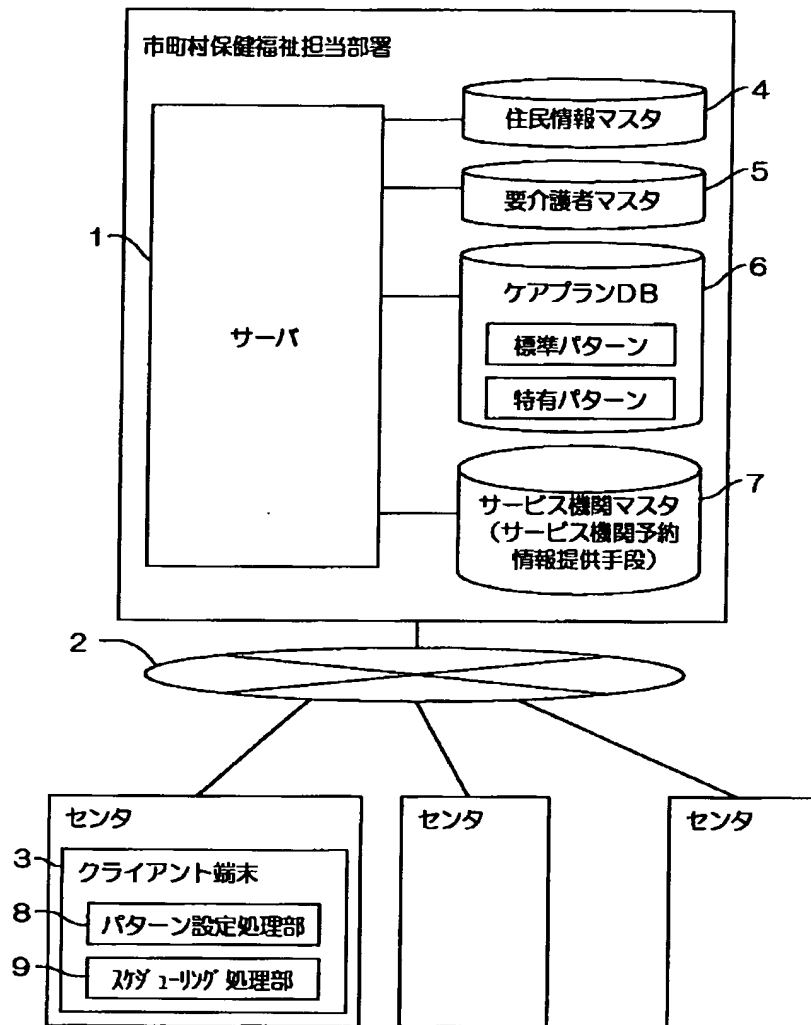
【図14】 本実施の形態における週単位サービスの特定日割付画面の表示例を示した図である。

【図15】 本実施の形態におけるサービス編集画面の表示例を示した図である。

【符号の説明】

1 サーバ、2 通信回線、3 クライアント端末、4 住民情報マスタ、5 要介護者マスタ、6 ケアプランデータベース、7 サービス機関マスタ、8 パターン設定処理部、9 スケジュール処理部、11、15、16、43リストボックス、12 パターン選択ボタン、13 パターン編集ボタン、14 サービス追加・削除指定エリア、17 確定ボタン、21 週単位サービス回数エリア、22 週単位以外サービス回数エリア、23 週間予定表、24 特定日予定表、25 サービス詳細表示エリア、26 概算見積り表示エリア、27 サービス機関割付エリア、28 特定日指定エリア、29 追加・更新ボタン、30 機関検索ボタン、31、53、54、55 フィールド、32 機関別参照ボタン、33 詳細設定終了ボタン、34、35 オプションボタン、41 確定ボタン、42 検索実行ボタン、44 機関検索ボタン、45 サービス機関のフィールド、51 詳細ボタン、52 詳細設定用のエリア、56 サービス計画確定ボタン。

【図1】



【図2】

要介護者マスタ

テーブル名称
D認定記録
D指定サービス種別
D認定病名
D意見書
D審議書
D審査会開催通知
C一次判定結果区分
C審査結果区分
C調査委託先
D認定通知
D特記事項
D合議体
D合議体審査員
C審査会開催場所
M介護認定審査委員
C審査資格
D審査会
D審査会振分
D審査会出席状況
M主治医情報
M主治医医療機関
C申請区分
C関係
C資格
C提出代行者機関種別
C申請種類
C特定疾病病名

【図3】

ケアプランデータベース

テーブル名称
Dケアプラン作成状況
Dケアプラン
Dケアプラン改訂履歴
D調整機関
D選問スケジュール
Dサービス機関利用実績
Dサービス機関リソース空き情報
Dサービス種別限度設定
Dケアプラン作成依頼
Dサービス受給要望ケア用
Dサービス受給要望
Mサービスパターン
Dケアプラン作成実績
Mケアプラン策定機関
Dケアプラン履歴管理
C作業項目
M点数金額換算
D介護サービス計画数
DWR6011
Dアセスヘッダ入力結果
Dアセスメント表入力結果
Cアセスメント表表示項目
D介護内容
D議事録
C根拠区分
C根拠内容
C根拠文型
D選定問題領域
D選定誘因項目
C表示評価関係
D評価レポート
C評価項目誘因項目関係
C問題領域マスタ
C問題領域選定ルール
C誘因項目
C誘因項目選定
D領域検討用紙
D領域選定表
C領域選定表1
C領域選定表2
C課題
C長期目標
C短期目標
C介護内容
C介護内容自動
Dフェース情報
Dリソース空き情報最終入力日
D担当サービス機関
M区分支給基準限度設定

【図5】

サービス機関マスタ

M機関管理
フィールド名称
機関CD
機関種別CD
福祉施設種別CD
都道府県CD
事業者番号
調査委託先区分
支援事業所区分
機関名称漢字
機関名称カナ
郵便番号
住所
電話番号
FAX番号
地区CD
休日曜日1
休日曜日2
休日曜日3
時間帯1開始時間
時間帯1終了時間
時間帯2開始時間
時間帯2終了時間
時間帯3開始時間
時間帯3終了時間
時間帯4開始時間
時間帯4終了時間
責任者氏名漢字
責任者氏名カナ
所在地地図情報
ネットワーク接続電話番号
ユーザID
パスワード
表示順
更新日時

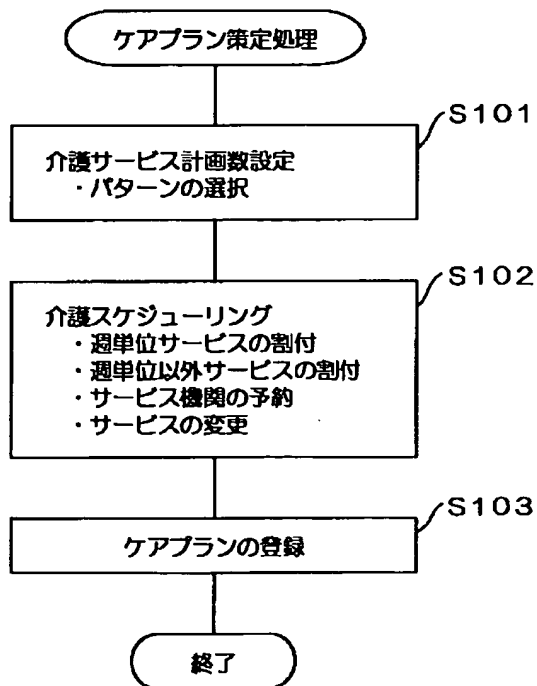
【図4】

要介護度	サービス型
要介護度 1	訪問型
要介護度 2	通所型 訪問型
要介護度 3	通所型 医療型 痴呆型
要介護度 4	訪問型 通所型 医療型 痴呆型
要介護度 5	訪問型 通所型 医療型
要支援	訪問型 通所型

要介護度 3、通所型のパターン構成例

サービス種類	サービス内容	利用回数
通所介護		週3回
訪問介護	昼間巡回型	週2回
短期入所療養介護		月1回

【図6】



【図7】

介護サービス計画設定画面

介護スケジュール
介護サービス計画
スケジュール詳細表示
見張り

被保険者番号 0000152242 性別 男 要介護度 正式 要介護3

認定申請日 平成 11 年 05 月 01 日

認定有効期間 平成 11 年 05 月 01 日から 平成 11 年 10 月 31 日まで

サービス種別 サービス項目 単価/単位 単価 標準単価

身体介護	身体介護中心	7.50	10.028	
訪問看護	保健師・看護師	1.00	10.004	
通所介護	健康	2.00	10.008	
短期入所生活介護	特設併設	3.00	10.020	

サービス追加・削除指定

サービス種別 サービス項目 標準単価 単価

サービス登録 サービス削除

パターン選択 パターン編集

11

【図8】

パターン選択画面

パターン選択

要介護度 要介護3 ▼

1 2 3

医療型
療養型
通所型
別名試験
訪問型

15

17

確定

サービス種別	サービス項目	頻度／単位	標準単価
訪問介護	身体介護中心	6.60 / 週	10,026
訪問看護	保健婦・看護婦	3.00 / 週	10,004
訪問リハ	訪問リハ	1.00 / 週	10,006
短期入所生活介護	特養併設	3.00 / 月	10,020

16

戻る

【図9】

介護サービス計画設定画面（週単位サービスの割付）

介護スケジュール

介護サービス計画数改定 スケジュール詳細表示 見張り

週単位サービス 開始日時 平成11年08月22日 ～ 平成11年10月31日 期間変更

月	火	水	木	金	土	日
曜						
期						
前	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)
午	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)
後	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)
夜	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)
深	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)
夜	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)	08:00-08:00 通所介護 (常設)

23

週単位以外のサービス

サービス種別 サービス項目 施設

訪問介護 介護センター 2.80/週

訪問看護 介護センター 0.00/週

訪問介護 介護センター 0.00/週

21

週単位以外のサービス

サービス種別 サービス項目 施設

訪問介護 介護センター 2.80/週

訪問看護 介護センター 0.00/週

訪問介護 介護センター 0.00/週

22

週単位以外のサービス

サービス種別 サービス項目 施設

訪問介護 介護センター 2.80/週

訪問看護 介護センター 0.00/週

訪問介護 介護センター 0.00/週

26

概要集約（点検）

訪問通所系 最大受給月 平成11年08月

区分	計画合計	支給限度額
訪問通所系	4,840	0
訪問入所系	12,345	0

25

サービス詳細表示

サービス種別 サービス項目 制度 サービス期間 区分 単価

1200-1200 訪問看護 介護センター 1.00 (常設) 100

24

週単位以外のサービス

サービス種別 サービス項目 制度 サービス期間 区分 単価

H11. 8.16 午前 01:00 ～ H11. 8.21 午後 01:00 訪問入所介護 介護センター 1.00 1234567890 (指定) 12,345

51

56

【図10】

介護サービス計画設定画面（週単位以外サービスの割付）

介護スケジュール
介護サービス計画
スケジュール詳細表示
見直し

週単位サービス
計画期間
平成11年08月22日 ~ 平成11年10月31日
計画変更

週単位のサービス

月	火	水	木	金	土	日
08月			04:00-04:00 訪問介護 (身体介護)			
午前	08:00-08:00 訪問介護 (身体介護)			08:00-08:00 訪問介護 (身体介護)		08:00-08:00 訪問介護 (身体介護)
午後	12:00-12:00 訪問介護 (身体介護)				12:00-12:00 訪問介護 (身体介護)	
夜間						
深夜						

サービス詳細表示

時間帯	サービス種別	サービス項目	頻度	サービス期間	区分	単価
1200~1200	訪問看護	保護者・看護婦	1.00		(係外)	180

週単位以外のサービス

サービス実施日時	サービス種別	サービス項目	頻度	サービス期間	区分	単価
H11. 8.15 午前 01:00 ~ H11. 8.21 午後 01:00	短期入所生活介護	看護研修	1.00			12,845

サービス種別 サービス項目 頻度 サービス期間 区分 単価

訪問介護 身体介護 看護 0.00/週
訪問介護 看護 0.00/週

週単位以外のサービス

サービス種別 サービス項目 頻度 単価

短期入所生活 看護 2.00/月

介護員数（点数）

（訪問看護所系 最大受給月 平成11年08月）

区分	計画合計	支給限度額
訪問看護所系	4,840	0
短期入所系	12,345	0

説明 削除 除外指定

介護所事務 印刷 サービス計画 照会

【図12】

サービス機関検索画面

空きリソース情報 (検索情報)

サービス種別 所属分庫 表示開始日付 平成 年 月 日

サービス項目 検索分庫中心 時刻帯 〇 午前 〇 午後 〇 深夜

平成11年

	05/12	05/13	05/14	05/15	05/16	05/17	05/18	05/19	05/20	05/21	05/22	05/23	05/24	05/25
	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
御田病院	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
山崎病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
川村病院	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
森田病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
大井田病院	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
徳木病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
船谷病院	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×
山下病院	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎	◎
高知記念病院	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△	△
三谷病院	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

空きベッド数は、(上段：男性用 下段：女性用) で表示しております。

41

【図13】

サービス機関別スケジュール参照画面

サービス機関別スケジュール

サービス機関 001 前田直隆

知像年月 平成 11 年 6 月

44 機関登録

42 機関実行

01 (土)	02 (日)	03 (月)	04 (火)	05 (水)	06 (木)	07 (金)	08 (土)	09 (日)	10 (月)	11 (火)	12 (水)	13 (木)	14 (金)	15 (土)
16 (日)	17 (月)	18 (火)	19 (水)	20 (木)	21 (金)	22 (土)	23 (日)	24 (月)	25 (火)	26 (水)	27 (木)	28 (金)	29 (土)	30 (日)
														31 (月)

サービス開始 ~ 終了日時 訪問介護 サービス種別 サービス項目 サービス量 サービス担当者

H11. 5.24 早朝 訪問介護 身体介護中心 1/週 前田 直隆 要員氏名 1 2 3 4 5 6

43

45

44

42

【图 14】

紹介スケジュール		介護サービス計画設定		介護サービス計画		スケジュール詳細表示		見送り	
週単位サービス		開始期間 平成11年08月22日		～ 平成11年10月31日		画面変更			
月	火	水	木	金	土	日			
早朝				04:00-04:00 訪問介護 (身体介護)					
午前	08:00-08:00 通所介護 (両側)			08:00-08:00 訪問介護 (身体介護)		08:00-08:00 通所介護 (両側)			
午後	12:00-12:00 通所介護 (両側)			12:00-12:00 訪問介護 (身体介護)		12:00-12:00 通所介護 (両側)			
夜間									
深夜									

特定期指定 ☐ 毎週割り当て済み ☐ 隔週割り当て

○ 毎月 ○ 特定日

第 1 □ 週 月 □ 曜日 早朝 □

週単位以外のサービス
サービス実施日時
ALL 1.3.15 午前 9:10 ~ HIL 1.21 午後 01:00 通所介護(生活介護) 作業療法 1.00

種別名	項目名	経度	時間帯	地図コード	保険対象	標準単価	補助単価	追加・更新	詳細設定終了
訪問看護	保健康・看護婦	1 / 週	12 時 00 分 から 12 時 00 分 まで		指定	点	点		

サービス項目	規定	サービス報酬	区分	単価
1294567890(指定)	1.00	1294567890(指定)		12.845

【图15】

[illegible]

フロントページの続き

(72)発明者 石村 乃介
東京都千代田区丸の内二丁目2番3号 三
菱電機株式会社内

Fターム(参考) 5B049 BB41 CC11 DD01 EE02 EE05
FF01 GG02

**This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning
Operations and is not part of the Official Record**

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

- ☐ **BLACK BORDERS**
- ☐ **IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES**
- ☐ **FADED TEXT OR DRAWING**
- ☒ **BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING**
- ☐ **SKEWED/SLANTED IMAGES**
- ☐ **COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS**
- ☐ **GRAY SCALE DOCUMENTS**
- ☐ **LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT**
- ☐ **REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY**
- ☐ **OTHER:** _____

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.